

2024年度 年次報告書



特定非営利活動法人COLLECTIVE

目次

01.

はじめに

02.

2024年度 活動一覧

03.

活動報告

04.

全国での実践紹介

05.

ご支援いただいた企業・団体の皆さま

06.

会計報告

07.

団体概要

はじめに

子ども達の未来を育てる

子ども達を取り巻く環境は、劇的に変化しています。2020年ごろから、小中学校ではGIGAスクール構想により1人1台のデジタルデバイスが導入され、授業での生成AI活用も積極的に行われるようになりました。学校のICT化が急速に加速することで子ども達の学び方も大きく変化しています。生成AIやメタバースといった最先端技術が学校教育との距離を縮めてきている現在、我々教員も加速する社会に着いていかなければなりません。

一方で、社会の急激な発展の裏で忘れてはならないのが、気候変動や食糧問題、人権や性差別などの社会問題です。産業の発展とともに多くの社会課題が生まれてきた地球では、新しい社会での未知なる課題に主体的に責任をもって取り組むことができる人材育成も必要不可欠となります。

これから到来するであろう、まったく新しい情報社会を生き抜くためのスキルや新たな問いに立ち向かう姿勢、正しい判断ができる力を学校教育で育むために、私たち教員は社会の一員としてリーダーシップを取っていかねばならないと考えています。

そこでコレクティブでは、"子ども達が未来に触れ、未来を考え、未来のために行動する"教育機会を届けていくことをミッションに掲げました。教員と地域社会が協働するコミュニティを実現し、子ども達が探究的に学ぶことで、未来の人材を育成できる学校教育を目指して活動していきます。

Message

私たちは、教員として10年以上現場主義で実践を積み上げてきました。教育を社会と分断させないという想いから、教員と企業・NPO・地域が協働して授業開発を行うコミュニティを構築しています。この事業は、児童生徒がより主体的に責任をもって社会と関わり課題解決できる能力を育成するために2018年に始動した教員主体の活動です。これまで、多くの子ども達が社会のリアルに直面することで、課題を自分ごとと捉え責任ある行動をしていく姿を何度も見てきました。子ども達が「未来に触れ、考え、行動する教育」をより多くの現場に届けたい！そんな想いで、この事業を推進しています。

代表理事 秋元 平良

2024年度 活動一覧



No. 01

EIC2024TOKYO

最先端テクノロジーをもった企業と教員が協働して授業開発を行うコミュニティを構築しています。毎年コンテストを開催し、協働による成果を全国へ発信しています。



EIC特設HP

No. 02

社会課題解決プログラム

社会課題に取り組むNPOと教員がコミュニティを構築し、子ども達が地球の未来について探求していくプログラムを提供しています。



プログラム詳細

No. 03

探究スクール事業

研究成果を実証する場として、放課後に児童生徒が通う探究スクールを運営しています。ここでは、学校と放課後の学びがシームレスに繋がる仕組みを実現しています。



コレクティブ
スクール

No. 04

全国協働・探究学習研究会

全国の学校で実践されている探究学習を、より汎用性の高いモデルにするために基礎研究から実践研究までを行う研究組織を主宰しています。



全国協働・
探究学習研究会

EIC2024TOKYO

EIC2024TOKYOとは、子ども達が未来に触れ、考え、行動する教育機会を提供するために教員と企業が協働して授業を開発し、実践した成果を発表するコンテスト型の教員研修です。

マッチングイベント

開催日：2024年8月2日（金）

場 所：衆議院第一議員会館・国際会議室



授業実践・公開授業

期 間：2024年9月～2025年1月

EIC2024TOKYOコンテスト

開催日：2025年2月1日（土）

場 所：御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンター

【最優秀賞】大阪市立今里小学校 斉田 俊平（NTTスマートコネクト）

【優 秀 賞】札幌市立北光小学校 斉藤 志緒里（みんなぐ）

【特 別 賞】埼玉大学教育学部附属小学校 藤田 明人（ポプラ社）



社会課題解決プログラム

「社会課題解決プログラム」は、全国の先生方が社会と繋がった協働的な授業を子供たちに届けられるように、社会課題に取り組むNPOからゲストティーチャーを派遣するなど探究学習を支援したり、授業に必要な資金を提供したりする助成事業です。2024年度は「森林・ゴミ・海の環境問題」「カンボジア・フィリピンとの交流」の2テーマで募集しました。

採択校一覧

「森と人と水と、ともに」KUNIMOTO Gree∞een Project

学校名：学校法人国本学園 国本小学校

実践者：齋藤 悠真（さいとう ゆうま）



カンボジア・フィリピンと日本の格差から考える探究学習

学校名：寒川町立寒川東中学校

実践者：鈴木 奈都（すずき なつ）



目黒区立五本木小学校実践報告

学校名：目黒区立五本木小学校

実践者：石塚 麻紀子（いしづか まきこ）

探究スクール事業

コレクティブ・探究スクールは、子どもたちが社会課題の解決に取り組むための放課後の学び場として開校しています。多様な人々と協働しながら実際の社会課題解決に挑むことで、“学校で学んだ知識を活用し、主体的に社会課題に向き合う力”を育成しています。



【活動報告】

2024年4月2日（火）	起業家教育ワークショップ
2024年4月9日（火）	第一クール「環境問題に取り組もう」開始
2024年8月6日（火）	短期イベント「蜜蝋ラップ作り」
2024年8月6日（火）	第二クール「社会課題解決に挑む」開始
2024年8月11日（日）	短期イベント「ビーチクリーン」
2024年10月18日（金）	短期イベント「秋葉原ゴミ問題解決プロジェクト」
2024年12月3日（火）	第三クール「防災意識を高める」開始
2025年2月1日（土）	探究成果発表

ご協力いただいた企業・団体の皆さま



全国協働・探究学習研究会

本研究会は、探究学習に関する調査研究と小中学校・高等学校での実践研究を行う研究組織です。教科領域にとらわれない幅広い授業実践を行い、探究モデルの構築を目指しています。



開催日：2025年2月1日（土）

場 所：御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンター

内 容：探究実践に関するプレ発表大会

① 東京都立篠崎高等学校（地域探究推進校）

探究テーマ『医療革命』

登壇者：生徒1名・唐仁原友紀（教諭）

② コレクティブ・探究スクール

探究テーマ

『一人一人の防災意識を変えるデザイン

を工夫して身近な人の命を守る方法を考える』

登壇者：生徒3名・沢井和也（コーディネーター）

【基調講演】

生成AIは、探究的な学びに何をもたらし、どのような学びを生み出すのか。

【講師】

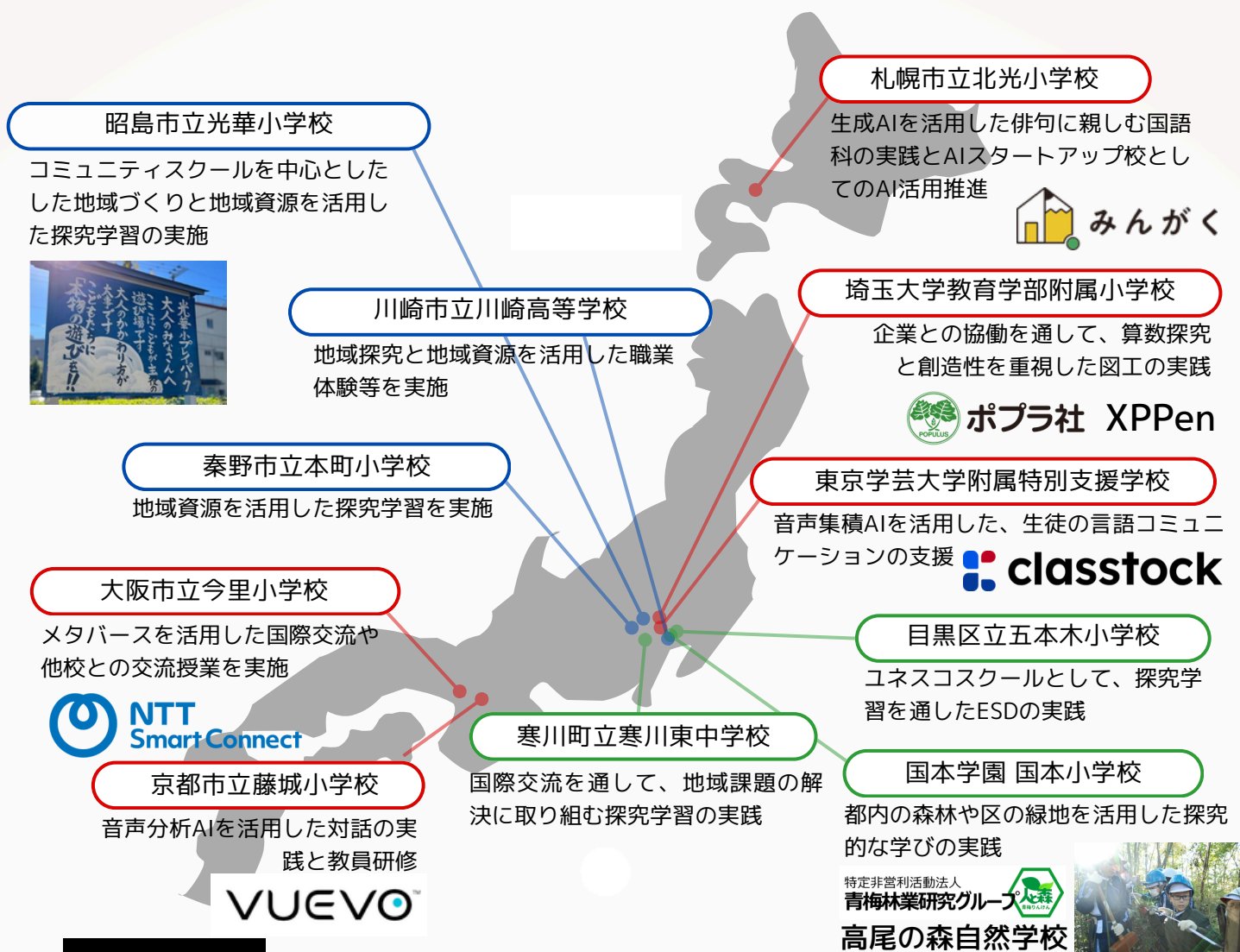
札幌国際大学 准教授 安井 政樹氏



全国での実践紹介

コレクティブでは、学校が地域社会と協働して探究的な学びを推進するためのコミュニティづくりを目指しています。全国でコミュニティを構築し、授業実践を行っている学校・企業・NPOをご紹介します。

- 社会課題解決プログラム
- EIC（コンテスト）
- その他



Event



EIC2024 TOKYOおよび探究実践発表会

『協働と探究』

日時：令和7年2月1日

会場：御茶ノ水カンファレンスセンター

内容：コンテスト、実践発表、年次報告

ご支援いただいた企業・団体の皆さま

コレクティブの活動に共感いただき心から感謝申し上げます。子ども達の未来のために、これからも末永くご支援いただきますよう宜しくお願い申し上げます。

 株式会社ミライクルラボ	 株式会社ツクリエ	 公益財団法人 関西・大阪21世紀協会
 公益社団法人国土緑化推進機構 緑の募金	 一般社団法人 全日本冠婚葬祭互助協会	 株式会社Mikulak
 株式会社マイナビ	 一般社団法人 フラワーライフ振興協議会	〈ご寄附をいただいた 個人の皆様〉 ・ 村田有正様 ・ 匿名希望

今年度、お預かりした寄附金はすべて全国の学校が社会課題解決プログラムを実施するための助成金として使用させていただきました。

また、お花などのご支援はスクール事業での探究学習に活用いたしましたことをご報告いたします。

皆様のご支援とご協力に、心より感謝申し上げます。

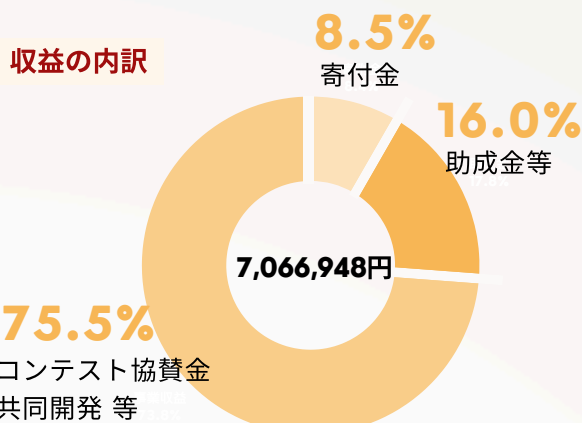
2024年度までにコレクティブは全国57校の小中学校、高校に企業やNPOと協働した探究学習を届けてきました。学校の先生方とともに、計4,159名の子ども達に「未来に触れ、未来を考え、未来のために行動する教育活動」を行い、未来の社会に必要な資質能力の育成を実現することができました。

活動計算書

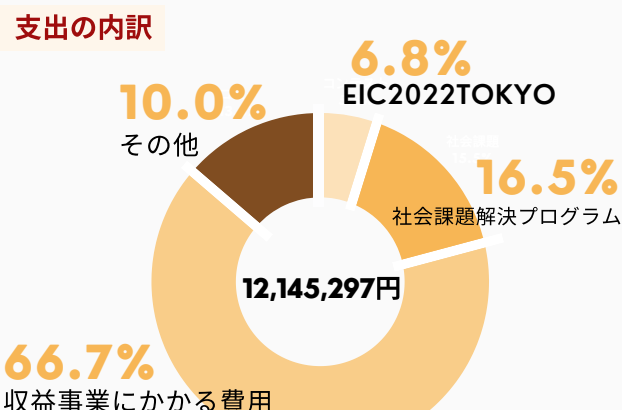
(単位：円)

	科目	金額
当期経常増減	1 受取会費	80,000
	2 受取寄付金	600,000
	3 受取助成金等	1,130,000
	4 事業収益	4,866,979
	5 その他収益	389,969
	経常収益 計	7,066,948
	1 事業費	8,989,248
	2 管理費	493,400
	経常費用 計	12,145,297
	当期経常増減額	▲5,078,349

(2024年4月1日～2025年3月31日)



2024年度は、助成金の額が1,130,000円となり、地域社会と協働するための事業を拡大することができた。次期の目標としては、同額程度の寄付金を企業様からお預かりし、事業規模をさらに拡大していきたい。



寄付金及び助成金は、全額を社会課題解決プログラムの運営費として使用いたしました。EIC2024TOKYOは、協賛企業様のご支援で運営しております。2025年度のご支援も、どうぞよろしくお願いいたします。

Donation

本活動をご支援くださる皆様からの寄付を随時受け付けております。
お電話、もしくはWEBサイトからお申し込み・お問い合わせください。

☎ 03-6555-1629

🔍 NPO コレクティブ



collective-sc.org

団体概要

組織体制（2024年3月31日現在）

理事会

代表理事 秋元 平良

副代表理事 佐々木 廣継

理事 片桐 光義

監事 赤沢 佑輝

ファウンダー

臼井純信（株式会社Advacom）

釜石剛（株式会社COCOON LABO）

内木広宣（株式会社ピコトン）

宇野治（一般社団法人Youth Econet）

山本シュウ（一般社団法人オセッカイダー）

遠山健太（株式会社ウィングート）

杉山豊（waratte）

ベルトンシェイン（ファンタムスティック株式会社）

村田有正（日本コロムビア株式会社）

本郷真平

研究会員 234名

常勤スタッフ 2名

非常勤スタッフ 4名

NonProfitOrganization
COLLECTIVE

特定非営利活動法人
COLLECTIVE

web <https://www.collective-sc.org/>

email info@collective-sc.org

住所 東京都千代田区神田猿樂町2-8-11
Vort水道橋III9階

電話 03-6555-1629



[collective-sc.org](https://www.collective-sc.org/)